

おいらせ町総合教育会議 議事録

開催年月日	令和4年12月12日(月)			
開催場所	甲洋小学校(図工室)			
開 会	午前10時30分	閉会	午前11時55分	
出席者	職名	氏名	職名	氏名
	町 長	成田 隆	副町長	小向 仁生
	教 育 長	松林 義一	教育長職務代理者	木村 啓一
	教育委員	浅野 邦子	教育委員	加賀 真美子
	教育委員	三村 伸子		
関係者 関係課 事務局	(甲洋小学校)			
	校 長	坂本 和康	教 頭	沼尾 千恵美
	(おいらせ町立図書館)			
	館 長	山下 幸子		
	(政策推進課)			
	課 長	柏崎 勝徳		
	(財政管財課)			
	課 長	岡本 啓一		
	(学務課)			
	課 長	福田 輝雄	課長補佐	小向 正樹
	(社会教育・体育課)			
	課 長	三村 俊介	主 幹	上野 宏子
	(総務課)			
	課 長	成田 光寿	課長補佐	堤 雅之
主 幹	柏崎 雄一			

次	第	1 開会
		2 授業見学（2年1組及び3年1組）
		3 町長あいさつ
		4 議事等
		ICTタブレット端末を利用した町電子図書館の現状について
		5 意見交換
		6 閉会

会 議 記 録	
発 言 者	発 言 要 旨
事務局 (総務課)	<p>それでは今日の流れを説明します。皆様の手元に今日の会議次第、資料がございます。このあと2年1組と3年1組、2クラスに分かれて実際の授業見学をいたします。今日の題目は「ICTタブレット端末を利用した電子図書館の現状」ということですので、電子図書館を活用した授業の風景を見ていただきます。その後ここの部屋に戻って会議を行いますのでよろしくお願い致します。それでは誘導に従って2年1組、3年1組のほうに移動お願いします。</p>
坂本校長	<p>2年生は、主に読み物、読書という形で電子図書を使っています。3年生の方は、同じ電子図書を使いながらの調べ学習ということでの授業をしています。違いがあるということでお知らせします。</p>
事務局	<p>それでは移動します。お願いします。</p>

会 議 記 録	
沼尾 教頭	半分に分かれて見学したいと思いますがどのように分けたらよろしいでしょうか。
教育長	教育委員会関係とそうじゃないところで分かれた方がいいのではないのでしょうか。
事務局	では、その分け方でお願いいたします。
	○授業見学（10時35分～10時55分）
事務局	授業見学お疲れ様でした。それでは次第に沿って会議を進めてまいります。 まず、町長からご挨拶いただきます。
町長	○町長あいさつ 皆さん改めましておはようございます。少し寒くなったんですけど、今日は町の総合教育会議ということで、甲洋小学校の校長先生、そして教頭先生には会場を貸してくださってありがとうございます。そしてまた教育委員の皆さん忙しい中このように出席してくださり、ありがとうございます。そして図書館長の山下さん、いつもお世話になっております、ありがとうございます。この会議は制度的に私が主催者になりますので、まずもって感じてることを少しお話ししたいと思います。 直接会議には関係ないんですが、今いろんな部分でマスコミが保育園のいじめの問題あるいは障害者のいじめとか、あるいは大人でも刑務所に収監されている人を死なせてしまうということが色々話題になっております。まずもって暴力はしてはいけないし、させてはならないということが基本中の基本でありますけれども、私たちも子供達をどうすれば安

会 議 記 録

全に卒業させることができるのか考え、教育委員会に相当の予算を充てていると思っています。例えば通学路の整備とかそういうものも教育委員会に関わる経費ではないかと感じています。木ノ下中学校の講堂の整備も進めています、金が無ければ多分それとて修理修理でいくべきでしょうけども、幸い当町は予算の目途がつくということで耐用年数に応じて整備をしています。ただ町村によっては、廃校になった学校でさえ予算不足のため壊せないという町村もあります。そういう部分では我が町は恵まれているのかなという気がしております。こういった点も教育委員の皆様にはご理解いただければ大変ありがたいという気がしております。

また国からは補助金を出すからということで新しい制度がはじまったりと、実際に携わっている教師の方々には負担が増していることについては、苦勞をかけているなと感じています。昔は教科書1冊あればそれを基に子供たちに伝えていけばいいものが、日々新しいものを新しいものをとすることで、もしかしたら年配の先生方は、こんなことも覚えなければならないのかという疑問を持ちつつ仕事に携わっているかもしれません。しかしながら流れに乗っていかなければならない、例えば昔は当たり前だった和式トイレが使えない子供たちが多くなって、洋式化を進めて対策をしていますが、まだ不都合のある学校もあるかもしれません。そういうのも含め、昔のことは昔話として、最先端の要望には答えつつよりよい教育環境で子供たちを育てていきたいと思っ

会 議 記 録

	<p>てますので、学校の皆様も要望があったらどんどん提案してください。教育長がその要望を受けて、我慢していただく内容のものか、実現に向けて進めていくものなのかは教育長と相談していきます。</p> <p>いずれにしても、教育委員の皆様にはこれからもおいらせ町の教育のためによりしく願います。終わります。ありがとうございます。</p>
事務局	<p>それではこれから会議のほうに入っていきます。改めてこの会議の位置づけというのをお話しします。本会議は、年に1回程度、教育委員会と町長で教育に関する意見交換をする場になっております。</p> <p>そちらの側には教育委員会関係の方々が、こちら側には町長・副町長をはじめ事務局である総務課、関係課として情報関係で政策推進課、それから財政関係で財政管財課が出席しています。今日は図書館の関わりがありますので、指定管理者の図書館長にも出席していただいております。このメンバーで会議を続けてまいります。どうぞよろしく願います。</p> <p>それでは4番目の議事ということで、タブレット端末を利用した町の電子図書館の現状について資料等もありますので図書館長からご説明お願いいたします。</p>
社会教育・体育課長	<p>それでは今日のテーマなんですが、ICTタブレット端末を活用した町電子図書館の現状ということで、詳細のほうは図書館長からお話しいただきますが、まずこの電子図書館は、県内初で令和2年7月1日からおいらせ町立図書館でサービスが始まった事業であります。電子図書館につきましては、インター</p>

会 議 記 録

	<p>ネットの環境があれば図書館に来なくてもパソコンとかスマホを通して時間・場所に制限されずに24時間利用することができます。また貸出とか返却についても非接触型で利用できることから、感染症対策の面でもコロナ禍において有効であります。そういった意味で、町民の読書環境の向上や読書の推進において、非常に有効なツールではないかと思っております。</p> <p>当町でも児童生徒にタブレット端末が配付されました。百石小学校において令和3年度にIDを配付して学校での活用がスタートしております。今年度は甲洋小学校、下田小学校でもスタートしております。町内の学校において広がってきているという状況であります。</p> <p>それではこの後、みなくる館・図書館・大山将棋記念館の指定管理者である図書館流通センターの山下館長から説明を行います。</p>
<p>図書館長</p>	<p>資料「ICTタブレット端末を利用した町電子図書館の現状について」に沿って説明 (別添資料 参照)</p>
<p>事務局</p>	<p>ここから意見交換に入りますが、ざっくばらんに意見を出しやすくするため、私も座って進行させていただきます。今日の意見交換になりますが、電子図書館そのもののことと、あとは利用ということで現場でのお話、この2つがポイントになるのかなと思っております。先ほど授業見学をさせていただきましたが、電子図書館を使う側の校長先生、教頭先生から、普段使ってる中での声、ここは助かってると</p>

会 議 記 録

か、ここは課題としてあるよとか、あれば伺いたいと思います。

教 頭

まず秋から導入することができまして、子供たちは喜んでタブレットを操作しています。本校では朝読書に使ったり、あとはテストが早く終わった時とかに、机の横からタブレットを出して読むというふうにしているので、触れる時間もだんだん増えてきているというか慣れてきてはいます。ですが、低学年はトップページを見てもひらがながないもので、なかなか1年生とか2年生、漢字が読めないで、「先生どこを押すんですか？」っていうところがあります。なので、例えば、小学生はここからみたいな感じでひらがなの多いページに飛べるとか、もしくはふりがながあったりとかしたら低学年も操作できるのかなって思っていました。特に低学年は、電子図書を借りているのか返しているのかごっちゃになることが多いみたいで、気づくとタグが溜まっていて、「あなたまだ読んでいないものがここにいっぱいあるよ」とかそういうのが多々ありましたので、まだまだ自分たちの力で読み進めるというよりは、先生や大人が傍にいて操作を手伝ってあげるっていうのが必要だなと思っています。今日3年生でやった調べ活動にも活用することができていて、ありがたいなと思っています。できれば学校の国語の教科書にあるような関連図書みたいなものを、学校側と図書館側とで情報交換して、「こういう本を揃えて欲しい」というやり取りができればいいかなと思っています。

会 議 記 録

	<p>先ほど2年生で見ていただいたんですけど、音声が ついているのがとても良くて、集中できない子供は 音があるだけでぐっと入っていくので、とても素晴 らしいサービスだなと思っておりました。あとは、本 を選ぶときに、1回のクリックで50冊ぐらい一気 に出てくるのが、低学年だと逆に数が多すぎて選ぶ のが苦勞するのかなと感じています。要望ばかりで 申し訳ありませんが、以上です。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。課題と思われるご意見が ありましたが、後で聞き取りする場を設けてますの で。先ほど授業見学をいたしました感想や質問も含 めて、町長、副町長、教育長、それから教育委員の4 名からそれぞれお話を聞いてみたいなと思ってまし たが、町長からお願いします。</p>
<p>町長</p>	<p>さっき手を挙げさせたら「教科書よりこっちのほ うがよい」と言ってたけれども、先生方は大変だろう など。一人ひとりみんな操作も違うし、開いてるペー ジが違うでしょ。教える先生たちの頭の切り替えも、 完全にマスターしている方であれば瞬時にできると 思うけれども、「この画面何なんだ」とか。困ってい る先生はいないのかな。あるいは教育長がいう指導 員みたいな人を採用できないのか。今時点では理解 できるけど次々と変化に対応できる指導者が常に必 要になるのではないか。そういうところが危惧され ます。そういう部分で、さっき教頭先生が言ったよう に漢字カタカナであれば1年生2年生に必要かなっ ていう部分もあるし、国にやれと言われたからその とおりやりましたではうまくいかない部分もあるの</p>

会 議 記 録

	かなと感じています。以上です。
事務局	副町長、お願いします。
副町長	さっき教頭先生からもお話ありましたが、耳から入ってくるものがすごくいいという話をされました。私もそのとおりだなと思っていました。というのも自分の経験から小学校3年生の時に確か担任の先生が本を読んでくれてそれをみんなで聞いて、シートン動物記を読んでもらって、それに興味がわいて読書というか本を好きになって常に読むような状況に今現在なってますけれども、そういう耳から入るっていいなと思ったときに、それぞれバラバラなものを聞いているというのがちょっと違和感を感じまして。やっぱり教室のみんなで同じものを見たうえで、人によって捉え方や感想が違うっていいのかなという気がしました。そういう視点から考えたときに、大きな黒板みたいな画面があってそこで全員が同じものを目で追うとか耳で聞くというやり方もありなのかなと感じました。以上です。
事務局	教育長、お願いします。
教育長	いくつかお話をさせていただきます。私は読書の基本は紙だと思っています。この電子図書はあくまでも補完、補いのためですね。ですから、本の予算を減らしてもいいんじゃないかと言うかもしれませんが、基本は紙だと思っています。足りない部分を電子図書館で補っていくんだっていう考え方をしていかなきゃダメなんじゃないかなと。読書を今日見てもらいましたけれども、国は子ども読書活動推進基

会 議 記 録

本計画を作っています。都道府県はそれを受けて子ども読書活動推進計画を作らなければいけません。町もそれを受けて町の子ども読書活動推進計画を作らなければだめだと、こういう流れになっています。そのルールに則って各小中学校は読書についての指導をしているということになりますので、勝手にやってるんじゃなくてルールに基づいて行っていると。そして、小中学校はちょうど電子図書館ができましたので、その力を借りて実施しているということをもまずご承知いただきたいと思っています。

どの学校でも朝の読書はやります。ほとんどやります。中学生もやります。学校で本を読む癖をつけたいということで、そういう習慣づけはいいと思いますので何とか小学校でやっていただければなど。ただ電子図書については手間がかかるので、今説明があったように、1週間ですぐにできるわけではないんですよ。わざわざ館長が各学校に行って1つずつIDとパスワードを配付していかなきゃならないので。木ノ下小学校はなかなか進みません。というのは人数が多すぎて対応しきれないですよ。ですからいろんな支援みたいなもので何とか進めていければなどと思っていました。まだまだ足りないので現場の方としてはせめて町内小学校の5、6年生全員が使えるような工夫が必要かなと思っていました。手間がかかるんですけど何とかやっていただければと思いますし、下田小学校、百石小学校含めて配備された学校は何とか実施していただいて、理解を深めていただければと思っていました。以上です。

会 議 記 録

事務局	はい、ありがとうございます。木村さんお願いします。
木村 教育長 職務代 理者	<p>参加させていただいて、大変、私が現場にいた時とは違った雰囲気を感じて、いい環境だなと感じました。利点として読書量が確実に拡大してると思います。小学校の時は1つのものをじっくり読むのもいいんだけど多読、色んなものに触れてそれがやがて収束して自分の好みに向かっていくので、たくさん本を読んで欲しいなど、とにかく読書量が拡大しているっていうのがすごくいいなと思いました。2点目はせっかく1人1台のタブレットが配布されているので、この有効活用の1つとして非常にいいなと思いました。予算のかけ甲斐があるなというふうに思いました。</p> <p>それから各学校の図書館にある蔵書がすごく違うんですよね。児童数に応じての蔵書なので。それがこの電子図書によって、ある程度蔵書の格差が解消されるのかなというのを感じました。最後に電子書籍が少ない、お金がかかるので大変でしょうけれども、これからも定期的に拡大していったら増やしていけたらなと思いました。あと、個人的に図書館に直接赴くことによって、図書館司書がいるのでその方と直接会話できたりして、こんな本あるんだよっていうそういう会話の場面がこれから無くなっていくのがちょっと心配ですね。そういう楽しみもあるのかなと思って、来館者数がどうなってるのかなとそのようなのを感じました。以上です。</p>
事務局	はい、ありがとうございます。続いては浅野委員お

会 議 記 録

	<p>願います。</p>
<p>浅野 委員</p>	<p>すごいハイテクなレベルの授業を見させていただいて、こういう風に今やってるのだなと感心しながら見てましたけども、町長とか皆さんが仰ってたように、こんな同じ教室にいて色々な画面を見てる子供たちがいてそれを1人の先生が把握して教えていくの大変だろうなと思ったのと、電子図書は今の時代にあったやり方なんだなって思いながら見ていましたし、操作できない子も、それこそたどたどしくやっているのも何人かいたんですけれども、その子たちに「難しい？」って聞くと、「難しい」、「じゃあどうしてるの？」っていうと、「お友達に聞いている、お友達が助けてくれる」っていうので、ああいい事だなと思って。助けてあげてる友達に、「教えてあげてるの？」って聞くと「うん」で、さりげない子供たちの会話が、やってあげてるとかじゃなくてすごく優しく聞こえて、子供たち同士分からないことがあったらお互いに助け合ってるのが見られてすごく嬉しかったというのがあります。以上です。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい、ありがとうございます。それでは加賀委員お願いします。</p>
<p>加賀 委員</p>	<p>はい。今日は良いものを見させていただきました。私は電子図書館を一度も利用したことがないので、今回こうやってやるんだっていうのを本当に初心者で見させてもらいました。いいなあとと思った点は、絵本を読んでいる子供、挿絵、絵も気になってこの操作1つで画面を大きく出来る。あ、こんな細かく絵も描いているんだっていうのを指1つで大きくできて</p>

会 議 記 録

分かりやすく出るんだなど。それから文字も大きくできて読みやすいのがいいと思いました。コロナ禍で図書館離れしている中でも、安心して本を読む機会ができるっていうのがいいと思います。子供たちが皆さんうつむいて下を向いて首を下げてジーっと見ている、今後目の視力だとか首だとか体調面の方が気になるのかなというのもありました。あと、私も本当は紙で読みたいタイプだったので、音声でただ耳を傾けて読んだ気持ちになるというのは、いい面もあれば悪い面もあるのかなっていうのもあります。やっぱり読むというのは目からと思っていたんですが、今の時代は読むというのも耳から聞くっていうのも読むに入るのかなというのもし感じました。あとはたくさんの音声が響くとなると、色々な音が耳に入ってきて集中できないかもしれないということも配慮が必要かなと感じています。自分の家で夫と子供が同じ本を読むときに、子供はスマートフォンで、夫は紙で読んでいます。子供たちはスマートフォンで読む時代になってきています。図書館で推進していた「1年間で50冊本を読もう」というのがあって、私も子供たちと行っていつも5冊借りてくるというのをやっていたんですが、どうしても冬の時期になると道が怖くて連れていく機会が減るっていうので、ぎりぎり40冊ぐらいで終わってしまうっていう壁があったのですが、冬場はこれを利用すれば達成できるのかっていうことを考えていました。利用したいなと思っています。以上です。

事務局

はい、ありがとうございます。では三村委員お願い

会 議 記 録

	<p>します。</p>
<p>三村 委員</p>	<p>ほぼこれまでの意見として出つくされたというか、何を言っているのかなと思ったんですが、やっぱり初めてこういう場に参加しまして時代の相違かなと。うちの下の子たちの時は電子黒板が最初だったと思うんですけど、それから何十年とたっているので、初めてこういう利用している子供たちの姿を見て、ああ時代に即したものだなあと思いながらも、私も基本は教育長と一緒に本は紙のほうがいいのかなんて思っています。でも調べるとかいうのに関しては結構すぐ開けるので利用しやすいのかと思っていました。読書に関しては本当に今活字離れとかいろいろ言われてますけれども、巷では本屋さんも減ってきているというのもあり、電子図書を利用してそれが解消されればいいかなあと思って見させていただきました。簡単ですけど終わります。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい、それぞれ多方面にわたっていい話を聞かせていただきました。ありがとうございます。今日の会議は何か物事を決めるのではなくて、情報共有とか課題があるとすればその方向性を見出すのが目的だと思っておりましたので、進行の方にお付き合いください。今ひととおりにお話しただく中で課題とか要望とかが出ました。図書館の利用に関することや電子図書館の操作のことなども学校から意見をいた</p>

会 議 記 録

	<p>だきました。その辺りで図書館長からお答えできる ところがあればお願いします。冒頭教頭先生のお話、 電子図書の使い方、要は主に低学年の操作性のこと とか、木村さんのほうからは司書の話もありました ので、その辺りお話しただけたらお願いします。</p>
<p>図書 館長</p>	<p>まず教頭先生からご指摘いただいた件について は、電子図書館を運営している会社に依頼が必要な 点もあってすぐにどうこうということは難しいので すが、運営会社にはこういったご意見がありました ということで報告したいと思います。木村先生から お話のあった図書館の入館者数はどうなのかに ついてですが、コロナ禍ということもあるんです けど、ちょっとずつ減ってきているというの はあります。色んな要因があると思うんです けど、コロナ禍であったりとか、全体的な 図書館離れ・読書離れというものもある のかなというふうに思っています。引き 続き図書館としても小中学校に図書館 だよりを配布したりしながら、つな がりを持つように努めていきますので、 これからも読書案内といいますか、 図書館案内ということをしてい きたいと考えています。私も読書は 紙だとは思っています。ただやっぱり、 すぐタブレットを出して読めるとい う利点とか、幅広いものを読める ということとか、例えば図書館では 「読みもの」としての視点で電子書 籍に注力して、学校図書館では、「調 べもの」の視点で手厚くするとか購 入するといった形で、うまく学校と 連携しながら子供たちに幅広い読 書ができる環境を整えていければ いいかなと思っていました。事例発 表で聞いたことがある</p>

会 議 記 録

んですけど、電子図書館ではひとまず色んな物語の1巻だけを揃えて。もうちょっと読みたくなったら図書館とか学校図書室で読んで。もっと読みたくなったら書店にいったら自分で本を買うという感じで読書を推進するという事例発表もありましたので、色々な事例を聞きながらおいらせ町にあった電子図書館にしていければと思ってます。

教育長

町民の方々にも読んでいただきたい。なかなか図書館に来る方は、町全体の人口の中では非常に限られた人しか来てないなと感じていました。何とかして本を読む習慣を広げていきたいなと思っています。実は学校には学校図書館があつてその中に司書を置くことが求められているんですが、青森県内の市町村の学校で司書が置いてあるのは限られています。お金がかかりますから。今置いてあるのは三沢、八戸ぐらいかな。県立の学校とかでもあんまり置いていない。実は司書っていうのは大変すばらしい仕事で、例えばこういう本が読みたいんだけどっていう大雑把な要望を出してもすぐに答えてくれるんですよ。そういう経験を町立図書館で体験してもらいたいなということがありますので。はっきりしないけれども、こんな本が昔あったんだけど探してもらえますか？みたいなことでもすぐ探してくれます。そういうのをやってくれるのが実は司書という方、図書館に勤めてる人の仕事になります。なかなかそういう事をイメージしないで図書館てなんか近寄りたいたいという人たちがほとんどですので、何とか図書館を利用してもらいたい、小中学生も含めてね。

会 議 記 録

	<p>このきっかけづくりにこの電子図書館がなってくればいいなということは感じますね。なかなか図書館に行く人は限られています。ほとんど毎日同じような方しか行ってないんじゃないかな。せっかく何万冊という大きい財産ですから、それを何とか活用してもらえないかなと思っていますので。学校には限られたものしかありませんけど、図書館には非常に多い図書がありますから、何とかやっていきたいなと考えておりました。図書館には無理をお願いして次は木内々小学校、そして最後は木ノ下小学校へと広げていただければと思っています。これ非常に手間がかかります。どれくらいかかるのかな。とにかくコツコツと、日常の業務を抱えながらやっていかないとならないので。</p>
事務局	<p>今、木内々小と木ノ下小の話が出ましたけど、広がらないネックになってるものは何ですか、学校側ですか。</p>
教育長	<p>労力です。</p>
図書館長	<p>私も3校の登録を経験してだいぶ業務的には慣れてきたので、次はもうちょっと早く登録できるんじゃないかなと思っていますので、労力は大丈夫です。ありがとうございます。お気遣いいただいて。実際には図書館の本数もやっぱり大きいのかな。子供向けの電子書籍がまだちょっと、先ほどの資料の中にありましたけど子供向け・児童向けは500冊ちょっとなので。木ノ下小学校だと5、6年生だけとはいえ全員で朝読で借りたりしたら読めるものがなくなってしまうというのがあるのかなと思っていました。</p>

会 議 記 録

<p>教育長</p>	<p>朝読書はどの学校も同じ時間帯でやるので満杯になる。これはね、ちょっと学年を決めてやるしかないかなという気がしています。何年生だけはいいいよと。木ノ下小まで広がっていったら、1学年だけで百何人いるからこれ一斉にやったらすぐ終わってしまう。実際に動くときには調整してやっていかなくては。だから、いきわたるようにしてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>フリーになってますので、私から指名しなくても自由に発言してください。</p>
<p>政策推進課長</p>	<p>もしかしたら今までの議論に水を差すかもしれませんが、すいません。今回の電子書籍導入にあたってコロナ交付金を結構充当しております。2380冊の著書数になると予算ベースで860万円ほどかかっています。ですので、多分先ほど話にありました紙に比べて割高だというのは、まさにそのとおりなのかなと思います。一方では、やっぱり紙のほうがいいよっていう話も聞こえてきたりしております。今後コロナ交付金が来年度以降あるのかどうかっていうのも勿論ありますので、電子書籍のほうにどれだけ財源を投入できるのかというところも問題になってくると思っていますので、そういう意味では、紙を買ったほうが割安だということであれば紙のほうを充実させていったほうがいいと考えたほうがいいのかなと。電子を入れることによるメリットという部分でいけば、例えば5校あれば5校に同じ本を5冊入れなければならないかもしれないけど、電子図書館ならそれが3冊で済むとかですね。色々メリットになる部分もあると思いますので、利活用方法とかメリット</p>

会 議 記 録

	<p>の部分をしっかり考えて書籍のほうの予算を多めに とっていくとかですね。そういうのを検討していかな なければいけないということと、あとは児童図書ば かりではなく、一般の図書も電子図書として充実さ せなければならぬと思うので、そのバランスとか、 あまり金のお話をすると明るい話題ではないので、 現実としてはどんな使い方をするのかというのをし っかり考えながら進めていかなきゃならないのかな というふうに感じました。</p>
事務局	<p>色々お金の話も出ましたので、お隣の財政管財課。</p>
財政管 財課長	<p>先ほど政策推進課長の言ったとおりだと思います。 今まで電子図書に財源を投入してきたわけなん ですが、電子図書を活用していくということであれ ば財源の確保が大きな課題になるのは目に見えてい る話です。だからこそ教育長からも話があるのかな と思ったんですけど、継続していくうえでやりくり は避けられないので政策推進課長が言ったように各 学校で購入している書籍をすり合わせしていくこと がとてもいいのかなと思いました。現状は伝票を見 ると各校バラバラなのかなと思って決裁してしまし たので、新しい取り組みをしたうえで継続していく べきものなんだろうなと思いました。</p>
教育長	<p>本当のスタートは、コロナ交付金の前に指定管理 業でスタートしてるんです。来年から5年間はど ういう風に考えるか分かりませんが、本当のスター トは指定管理業からスタートしているので、おそら く少しずつ、毎年30万円とかは無理な話ですけど 数万円ずつで買い足していってもらって。中には5</p>

会 議 記 録

	<p>年しか使えないものもあるので、工夫してやっていかなきゃダメかなと。コロナ交付金の前から始まっています。確かにお金はかかりますけど、最後はいっぱい本がある町立図書館になってくれればこちらとしてはいいなあと。今5、6万冊ですか。</p>
図書館長	<p>そうですね、今5万6千冊。</p>
教育長	<p>学校はきっかけづくりだと思うので。</p>
事務局	<p>だいたい12時くらいには終えたいと思っていますので。</p>
校長	<p>2点ほど。1つ目はですね。町長のお話にもあったんですけど、学校教育は日々新しいものが入ってきて、電子図書館も入ってきております。各担任の方で子供たちに指導するというのが基本ですけども、応援を求められたとき、小学校であれば校長、教頭、教務この3人しかいないんです。見た目で見分かりますように、もうベテランの域でなかなか新しいのについていけないっていうのもあります。逆に学級に入ったときに詳しい子供たちに聞いてそれをまた子供に教えるとかそういうのもあって、本当に新しいものになかなか対応が難しいところもあって、先ほどありましたようにICTの支援員が週1回でも入ってもらって、私たちに指導してもらえれば電子図書館以外でのタブレットの活用ってのも有効になってくるのかなと思っています。もう1点は、子供たちにタブレットを使って今日授業してましたが、それが実際家でどの程度電子図書を使ってるのかなというところも確認していかなければならないなと思っ</p>

会 議 記 録

	<p>ております。家でタブレットであったりパソコンがあって、電子図書のIDを打ち込んで学校で読んだものがさらに家でも読めるというふうな環境があればいいんですけども、そうでないお子さんにとっては、タブレットの貸出、本校は今現在タブレットの貸出はコロナで3日以上休む子供に限定しております。それでもまだ実績はないんですけども、そういうタブレットを家に持って帰って学校の続きを読んでもというふうになると、電子図書の利用率が高まってくるのかなと思っております。そういう部分で学校としても、できる指導というのは考えていかなければならないと思っております。以上です。</p>
事務局	<p>はい、ありがとうございます。あとお1人かお2人まで。今の電子図書館に関してでもいいし、電子図書館以外でも何でもいいですよ。</p>
教育長	<p>毎回しゃべってることですが、この総合教育会議の意義っていうのは、前みたいに町長から見て教育委員に対して「これ足りない、これもっともっとやったらとか、こういう問題あるんじゃないか」とかそういうのをどんどんしゃべる場だと私たちは思っています。だからそのためには例えば100万やるからこれなんかやったらとか、200万やるからもう少し生徒の学力を上げろとか、こういうのをバンバンしゃべって、それを支える課長さんたちの話になればいいなあとと思ってました。私たちはそういうふうに総合教育会議をとらえてましたので、よろしくどうぞお願いします。</p>
事務局	<p>今の教育長の話を受けて、最後に町長から一言お</p>

会 議 記 録

	願います。
町 長	<p>言いたいことは教育長に直接言います。委員の方にはきつすぎると思う。私は教育っていうのは優しさ、親切さだと思ってます。というのは、70歳過ぎたら病院に時々行くわけです。看護師さんとか技師さんたちの優しさ、ここの病院にまた来ようって思うもんな。接待というか接客。保育園の先生方も思うでしょ。優しく接すればその子供たちも寄ってくるでしょ。そう思う。子供たちは態度で見抜くと思う、先生方の優しさとか。そういう優しさが教育の原点じゃないかな。その次に教養とか技術とかを身に付けさせる。何より優しく接するということが子供たちに好かれる先生になり保育士さんになるんじゃないのかな。だから病院では患者を増やすには優しく接すればいいと思うし、図書館もそうだと思う。接客がよくいけばお客さんが増えると思う。技術的なもの、教養よりも優しく接することが1番じゃないか。これはなんにでもいえるし、介護施設にでもいえることだと思う。そういう事を念頭において、要望は教育長に。教育長を中心に皆さん協議してくださればいいと思います。本当に先生方にはこんな新しい事ばかりさせて申しわけなく思ってますので。懲りずに頑張ってください。</p>
事務局	<p>校長先生、教頭先生には授業中の見学も含めて、本当にありがとうございました。</p> <p>(修礼)</p> <p>以上で会議が終わります。修礼を行いますので、ご起立ください。</p>

会 議 記 録

(礼) ありがとうございました。

○ 閉会